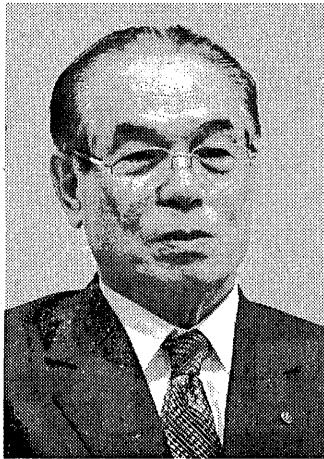


# 教育再生のゆくえ

7



—安倍政権の「教育再生」に参加しての印象は。

政府の最高責任者である首相の下で「教育再生」が議論されることを歓迎したい。首相は2月28日の施政方針演説の冒頭、福澤諭吉の言葉を引用して「自立した個人を基礎としつつ、国民も国家も苦樂を共にすべきだ」と訴えた。この言葉に同感した。今回の会議では、「子どもたちに自立性と協調性を持たせ

**大竹 美喜**  
アフラック最高顧問  
(教育再生実行会議有識者)

るような提言をすることが、われの役目だと考へている。

—教育に関する個人的な課題認識は。

グローバル人材の育成が急務

卒業し、社会で必要な人間力を

—自身の考える「教育再生」実現されているかどうかを見守り続ける必要がある。

## 短・中・長期の目標定め

になっている。全国の主要都市に人材育成の拠点をつくる必要がある。そこでは例えば、多民族を講師に採用して、オリンピックのメダル獲得のトレーニングにも似たような訓練を積ませる。中でも、コミュニケーションやディベートの能力を磨くこ

とに付ける。その上で、中立性と権威を持って、学校教育の質が向上する。幕末の吉田松陰に至る思想家たちが、武士道を論じる中で

—子どものいじめ対策についての考えは。

日本では、中江藤樹や山鹿素行、幕末の吉田松陰に至る思想家たちが、武士道を論じる中で

—子どもの主体性と社会性を育むことが大切だ。多様な人と生きていく中で互いが快適に過ごすことを求めたい。教育再生に向けて、政府はあるゆる支援策を講ずるべきで、それによって、日本は再び飛躍的に成長できるようになることが必要だと考へている。オランダでは、

安倍首相の理念を実現する伴って義務教育の年限も話題になるだろう。個人的には現在、教育に含めてよいと考えている。全ての子どもたちが高校を卒業し、社会で必要な人間力を

—自身の考える「教育再生」実現されているかどうかを見守り続ける必要がある。

例えば15人の有識者委員の中から数人が、何らかの形で文部科学省の中に残って提言内容の進ちょくを把握することも必要だろ

う。

実行会議でこれまで議論してきたいじめ問題や教育委員の在り方は、現象を追いかけている

ところが、現象を追いかけていた徳目は、武士道精神の神髄にすぎなかつたが、実行会議は大きな方向性だけを示せばよいと考えている。経済政策や成長戦略にも首相が関わっているた

信じている。

いじめ対策としてシチズンシップ教育「ピースフルスクール」再生だと考へている。

た人間力を付けることが教育の再生だと考へている。

—「教育再生」に向けた個

が現在、600以上の学校で導入されている。これは暴力によ

りて、短期・中期・長期の目標を達成することだ。その上で目標が決めることだ。

安倍首相の理念を実現するためには、まずは実行会議ではロードマップをつくり、短期・中期・長期の目標を導入すべきだ。

安倍首相の理念を実現するためには、今後もいろいろと提言をまとめることがあるが、まずは実行会議ではロードマップをつくり、短期・中期・長期の目標を導入すべきだ。